

## 柱 3 環境共生

### 主要指標 森林整備による西山の森林の CO<sub>2</sub> 吸収量

令和 4 年度の目標	令和 4 年度の結果
累計 1,563t-CO <sub>2</sub>	累計 1,614.41t-CO <sub>2</sub>



森林整備を推進した結果、基準年（令和2年度）と比較して 78.24 t-CO<sub>2</sub> 増加し、目標を達成しました。

### サブ指標 西山における植物調査で確認できる種の数

令和 4 年度の目標	令和 4 年度の結果
種の数維持（168 種）	173 種



西山における継続的な植物調査を実施した結果、基準年（令和2年度）と比較して 5 種多い結果となりました。植物種の数の変動は長期的な視点に立って見ていく必要があります。今後も調査を継続していきます。

## (1) 西山をシンボルとする自然環境の保全・再生・活用

### ① 西山の森林整備

#### 竹林を含む森林整備

令和 4 年度の目標	令和 4 年度の結果
森林整備面積 延べ328ha	森林整備面積 延べ329.43ha



森林整備とは、森が健全に育ち、地下水の保全や生物多様性、災害の防止などの機能を維持していくために、木を間引いたり、拡大竹林を伐採したりすることです。このような整備で、木が吸収する二酸化炭素の量が増え、地球温暖化対策にもつながっています。令和 4 年度は 9.57ha の整備を実施しました。

#### 森林整備のうち利用間伐

令和 4 年度の目標	令和 4 年度の結果
利用間伐面積 延べ13.5ha	利用間伐面積 延べ12.7ha



長岡京市では、平成23年11月に策定した「公共建築物等における長岡京市産材の利用促進に関する基本方針」に基づき、森林を整備した出た木材等を利用する「利用間伐」を進めています。

令和4年度は0.51ha分の利用間伐を実施しました。搬出した間伐材は、市役所新庁舎（1期）総合案内カウンターや西代里山公園管理棟看板、市民課ペン立て等に利用し、市民へのPRも行いました。

※間伐とは…健全な森林育成のために樹木を間引くこと。



新庁舎（1期）総合案内カウンター

## ②生物多様性の保全

### モニタリングサイト 1000 里地調査の支援

令和4年度の目標	令和4年度の結果
調査項目 3 項目	調査項目 3 項目

環境省が実施するモニタリングサイト 1000 里地調査に、市が参画する西山森林整備推進協議会として参加しています。この調査は、全国の多数の場所で統一した方法により、各種生物の調査を行うものです。長岡京市内では、西山をフィールドとして鳥類、チョウ類、植物相の3項目の調査を登録しています。



市の鳥メジロ



### 野生動物と親しむ機会の創出

令和4年度の目標	令和4年度の結果
イベントの開催年 1 回	イベントの開催年 1 回

例年、冬鳥が観察できる2月頃に、野鳥の観察をととして自然環境保全に意識を向けていただくイベントとして、バードウォッチングを開催しています。令和4年度はコロナ禍後、久しぶりの開催となる予定でしたが、あいにくの大雨で中止を余儀なくされました。

一方、少し時間を遡って6月には、西代里山公園管理棟のプチリニューアルを行い、長岡京市ゲンジボタルを育てる会や西山森林整備推進協議会の活動を紹介する常設展示の開設を行いました。その中で、しばらく市役所の地下で行っていたホタルの幼虫の養殖活動を管理棟に移すこととしました。豊かな自然の象徴とも言えるホタルの養殖の様子を見ていただくことで、自然環境保全に意識を向けていただけるものと思います。



ホタルに関する展示を見る来館者



### ③西山の有効活用

#### 西山を活用した環境学習

令和4年度の目標	令和4年度の結果
西山を活用した特色ある環境学習の実施	西山を活用した特色ある環境学習の実施



市内の各学校で、西山を活用した環境学習が取り組まれました。薪ストーブを設置している神足小学校では火入れ式を実施し、長岡第四小学校は西代里山公園での校外活動を行いました。長法寺小学校は「総合的な学習の時間」で筍をテーマにとりあげ、調べ学習をしたり、西山体育館の側で掘り出したり、絵に描いたりしました。長岡第三中学校は竹林整備を体験しました。

#### 地域の環境活動を担う人材の養成講習会・研修会の実施

令和4年度の目標	令和4年度の結果
受講者数延べ 90 人	受講者数延べ 99 人



自然豊かな西山の保全に取り組む人材を育成するため、森林ボランティア養成講座を実施しています。令和4年度は竹林の整備が体験できる講座を開催し、11名が参加しました。今後の継続的な環境活動への参画が期待されます。



森林ボランティア養成講座

#### 西山キャンプ場の有効活用

令和4年度の目標	令和4年度の結果
老朽化した付帯設備等の修繕と関係課等との活用方法の検討	老朽化した付帯設備等の修繕



雨風等により床板や手すりの木材が傷み、危険な状態となった橋数箇所について、架け替えや床・手すりの取り換え、補強を行いました。給水タンク内の部品の破損によりタンクに水が溜まらなくなっていたトイレ2箇所も修繕しました。今後も西山キャンプ場が生涯学習や環境教育の場として有効に活用できるように、維持管理に努めます。

#### ④森林組合の育成

##### 森林組合の組織運営維持

令和4年度の目標	令和4年度の結果
組合員数 102人	組合員数 100人



西山の森林整備を進めるために、長岡京市森林組合の組織運営や活動を支援しています。令和4年度は農業祭や環境フェアでのブース出展の補助や、サントリー天然水の森事業の受注に係る整備業者との調整等により活動を支援しました。

#### (2)竹林の保全・再生・活用

##### ①竹林の整備

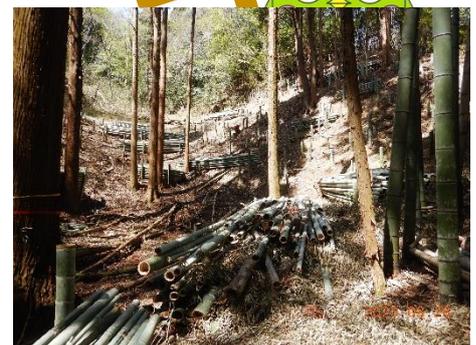
##### 竹林の整備

令和4年度の目標	令和4年度の結果
竹林整備面積延べ 25.9ha	竹林整備面積延べ 25.7ha



西山の住宅地に接する部分の多くが竹林です。ブランドの長岡京のたけのこを産出する場所ですが、放置されると森林を侵食して広がり、災害リスクが高まったり、生物多様性が失われたりします。

平成27年4月に改定した西山森林整備構想において放置竹林の拡大は最優先課題としており、今後も竹林整備に積極的に取り組んでいきます。



拡大竹林の整備

また、いくつかの地点では、竹林整備ボランティアさんが放置竹林整備の重要な役割を果たしていますが、団体の高齢化が進んでいます。下記の竹の出口戦略と併せて、担い手の育成が重要な課題です。

##### ②竹の持続可能な利活用に向けた調査研究

##### 学術機関・事業者等と連携した実用化の検討

令和4年度の目標	令和4年度の結果
京都大学等と連携した資源活用手法の調査研究を継続	京都大学等と連携した資源活用手法の調査研究を継続



令和3年度から、長岡京市の放置竹林問題の解決に資する取り組みとして、京都大学及び民間事業者等との連携のもと、竹材の成分であるセルロースから酵素を使って生分解性プラスチックを製造し、活用する共同研究を開始しています。産官学等が連携することでそれぞれの強みを生かし、新たな竹の利活用方法を生み出すことが期待されます。令和4年度も継続して調査研究に取り組みました。

### (3)環境にやさしい農業の推進

#### ①環境負荷に配慮した農業の推進

##### 有機栽培に対する補助金の交付

令和4年度の目標	令和4年度の結果
年 300 千円	年 300 千円



特産品の花菜<sup>ほしろう</sup>の圃場に使用する、環境負荷の少ない有機栽培のたい肥購入に対して、補助金を交付しています。令和4年度は、JA 京都中央長岡京花菜部会の会員9名に対して補助を行いました。

現在、長岡京市の農家で栽培している花菜は、平成2年に「京のブランド産品」の指定を受けるとともに、平成17年から「京都こだわり生産」の認証を受けています。

#### ②市民の農業理解の促進

##### シルバー農園の運営

令和4年度の目標	令和4年度の結果
利用者数 180 人（最大定員）	利用者数 148 人



長岡京市では、高齢者の生きがいづくりのために、60歳以上の方を対象とした「シルバー農園」を市内に3カ所（井ノ内園、長岡園、調子園）運営しています。利用者の健康増進に向けて、今後も継続的な運営を行っていきます。

#### ③地産地消の推進

##### 地産地消推進協議会の開催による取り組みの充実

令和4年度の目標	令和4年度の結果
学校給食納品額 1,020 万円	学校給食納品額 1,230 万円



長岡京市の全小中学校で、地元産の野菜を給食に使用しています。令和4年度は小学校に12品目、中学校に5品目の野菜を納品しました。特産の花菜、ナス、タケノコなども提供されており、児童・生徒の食育の面からも効果をあげています。

#### ④農地の保全

##### 農地パトロールの実施及び農地銀行制度の運営

令和4年度の目標	令和4年度の結果
遊休農地 12.0ha	遊休農地 17.7ha



遊休農地とは、農作物を収穫するために使われていない農地のことです。

遊休農地の発生を未然に防ぐため、農地パトロールを行い、耕作が不十分な農地については、市の農地銀行制度や国の中間管理機構の紹介、農業委員を通して貸し手借り手のあっせんを行い、担い手への集積を行っています。令和4年度の遊休農地面積は、前年度比で 4.1ha 増加しました。これは、農地パトロールにおける遊休農地かどうかの判断を厳格化したことが大きな要因です。

※農地銀行制度とは…農家間で農地の貸借を円滑に行うための本市独自の制度。農業委員会が仲介する。

#### (4)水辺環境の保全・再生

##### ①河川・水路の維持管理

### 河川清掃支援

令和4年度の目標	令和4年度の結果
参加者数 280人	参加者 176人



河川や水路などの清掃を行う個人や団体にごみ袋を交付し、活動を支援しています。令和4年度は、毎年7月に実施されている「小畑川クリーン作戦」が大雨により中止となったため、参加者数が減少しました。地域の方による日頃の清掃活動や、水辺環境の保全につながるため、今後も支援を継続していきます。

##### ②ホタルの保護と育成

### ゲンジボタルを育てる会と連携した ホタルの保護活動及び自然環境保全啓発 (ホタル観賞の夕べ含む)

令和4年度の目標	令和4年度の結果
保護活動及び啓発の実施	保護活動及び啓発の実施



長岡京市を流れる小泉川に生息するゲンジボタルを保護・育成するため、平成59年に発足した「長岡京市ゲンジボタルを育てる会」とともに、河川清掃や人工飼育に取り組んでいます。令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、多くの人が集まる「ホタル観賞の夕べ」については実施を見送りましたが、ホタルの養殖活動や捕獲防止パトロールを実施しました。さらに、長岡京市市制施行50周年を記念して、西代里山公園管理棟で「ホタル観賞会」を開催しました。



市制施行50周年記念 ホタル観賞会

## 柱 4 都市環境

### 主要指標 住民 1 人あたり公園面積

令和 4 年度の目標	令和 4 年度の結果
3.52 m <sup>2</sup>	3.30 m <sup>2</sup>



本市は毎年人口が増加し続けていますが、住民 1 人あたりの公園面積は基準年（令和 2 年度）の 3.32 m<sup>2</sup> とほぼ同じ面積が確保できています。

### サブ指標 みどりのサポーターによって管理されている緑地の数の維持

令和 4 年度の目標	令和 4 年度の結果
182 カ所	191 カ所



サポーターの高齢化に伴い、解散する団体が増えてきていますが、今後も、はっぴいバスへの広告掲載や緑の講習会で、サポーター参加数を増やす取り組みを継続していきます。

### (1)身近なみどりの保全・創出

#### ①まちなかのみどりの創出

#### まちなかの公共空地等への植栽

令和 4 年度の目標	令和 4 年度の結果
まちなかに創出した緑被面積累計 3,330m <sup>2</sup>	まちなかに創出した緑被面積累計 3,346.63m <sup>2</sup>



長岡京市みどりの基本計画に基づき、身近なみどりの創出事業で、サクラ等の植樹を行い、街中の緑を増やす取り組みを進めていきます。

## 緑の講習会・グリーンカーテン コンテスト等の実施

令和4年度の目標	令和4年度の結果
参加・応募者数275人	参加・応募者数262人



住宅が多い長岡京市のまちなかでは、緑は貴重な資源です。長岡京市では、緑豊かなまちづくりを推進するため、(公財)長岡京市緑の協会と連携し、緑の講習会やグリーンカーテンコンテストなどを実施しています。令和4年度は緑の講習会を9回開催し、延べ127人の参加がありました。グリーンカーテンコンテストについては、家庭部門(19件)、団体部門(9件)の応募があり、延べ135人の参加がありました。

### ②公園緑地の整備・維持管理

## 新規公園の整備・市民協働による 既存公園の維持管理

令和4年度の目標	令和4年度の結果
住民1人あたりの 公園面積 3.52㎡	住民1人あたりの 公園面積 3.30㎡



本市は、市域が狭い上、約4割が西山に覆われており、自然公園や運動公園などの大規模な公園整備は難しい状況ですが、平成28年度には2.2haという広大な西代里山公園が完成しました。

今後も市民が憩える公園を整備するとともに、市民等との協働により適切な維持管理に取り組んでいきます。

### ③緑の協会と連携した緑化の推進

## みどりのサポーター制度の普及

令和4年度の目標	令和4年度の結果
みどりのサポーター数 109団体	みどりのサポーター数 109団体



平成16年10月から始まったみどりのサポーター制度は、市内の公園や道路の掃除や植栽などを行うグループを支援する制度です。

緑の協会に登録を行うと、花苗の提供や清掃用具の貸出などの支援が受けられます。「公園が雑草ではなく、草花がいつも咲いている場所にしたい。」「家の近くの道路はいつもきれいにしていきたい。」など様々な思いを持って、令和4年度は1,369人のサポーターが活動しました。

サポーターの高齢化に伴い、解散する団体が増えてくることが想定されるため、若い世代の加入を促していきます。

## (2)環境に配慮した都市空間整備

### ①環境配慮型の都市基盤整備

#### 歩道の透水性舗装の施工

令和4年度の目標	令和4年度の結果
長岡京駅前線第4工区の 工事に反映	長岡京駅前線第4工区の 用地買収



歩道に雨水がたまりにくくする「透水性舗装」は、環境に配慮した都市基盤整備と言えます。

長岡京駅前線第4工区（産業文化会館以西から阪急踏切を横断して数メートルまでの区間）については、令和4年度は事業認可を延長しましたが、引き続き用地買収を推進しました。透水性舗装については、令和5年度以降の工事に反映をしていく予定です。

#### 阪急長岡天神駅周辺整備での検討

令和4年度の目標	令和4年度の結果
東口暫定駅前広場の整備	東口暫定駅前広場の設計と 整備工事の開始



阪急長岡天神駅東口暫定広場の整備にあたり、令和4年度は隣接住民等を対象とした意見交換会やオンラインアンケート調査などを行い、設計に反映しました。令和5年3月に工事請負契約を締結し、整備工事を開始しました。環境配慮に関する事項は、引き続き検討していきます。

#### 雨水浸透や騒音低減、ヒートアイランド対策など

令和4年度の目標	令和4年度の結果
JR長岡京駅東口駅前広場 整備工事に反映	JR長岡京駅東口駅前広場整備工事の 工期の延長により未実施



JR長岡京駅東口駅前広場整備工事の工期が1年延長したことにより、令和4年度は未実施となりましたが、雨水浸透やヒートアイランド対策に対応したタイル舗装を、令和5年度に実施予定です。

### ②歩きやすい道路空間整備

#### バリアフリー・電線類地中化の推進

令和4年度の目標	令和4年度の結果
長岡京駅前線第4工区の 工事に反映	長岡京駅前線第4工区の 用地買収



長岡京駅前線は、JR 長岡京駅西口から長岡天満宮・八条ヶ池をつなぐ道路で、歩道や車道が広がることで、誰もが安全に利用できるように、計画的に整備を進めています。歩道の整備においては、バリアフリーや電線類地中化を推進し、快適な歩行空間を確保しています。

令和4年度は、長岡京駅前線第4工区（産業文化会館以西から阪急踏切を横断して数メートルまでの区間）の事業認可を延長しましたが、引き続き用地買収を推進しました。

### 歩行者道の整備

令和4年度の目標	令和4年度の結果
整備延長 560m	整備延長 191m



バリアフリー化については、舗装復旧に合わせ、老朽化の激しい側溝の改良により歩行者が歩きやすい歩道を確保するため、神足3丁目地区、調子1丁目地区、野添1丁目地区で合計延長163mの歩道整備を行いました。また、歩行者の安全性及び快適性を確保するため、奥海印寺地区で28mの歩道整備を行いました。令和4年度の目標値には届きませんでした。今後も優先順位の高い地区から順番に整備を進めていきます。

### ③個性ある景観の保全・形成

#### 景観計画の運用に基づく景観届出審査

令和4年度の目標	令和4年度の結果
新景観計画及び景観形成ガイドラインに基づく運用	新景観計画及び景観形成ガイドラインに基づく運用



令和2年度に改定した景観形成ガイドラインを用いて、新景観計画の景観形成基準を申請者に的確に伝え、良好な都市景観への誘導を実施しています。

### ④グリーンインフラの活用

#### グリーンインフラとグレーインフラの比較検討・調査・情報収集

令和4年度の目標	令和4年度の結果
JR 長岡京駅東口駅前広場における「にぎわい空間」により検討	JR 長岡京駅東口駅前広場における「にぎわい空間」の植栽について情報収集



令和4年度においては、JR長岡京駅東口駅前広場の整備に伴う植樹について情報収集を行いました。グリーンインフラの整備については令和5年度に実施予定です。

※グリーンインフラとは、街路樹などに代表される自然を活用したインフラのことで、CO<sub>2</sub>吸収源の創出、気温上昇の抑制、土壌創出による雨水の貯留・浸透などの多面的な役割を期待されています。

### (3)歴史文化資源の保存・活用

#### ①歴史文化資源の保存・活用

##### 神足ふれあい町家の活用

令和4年度の目標	令和4年度の結果
入館者数 10,000 人	入館者数 10,306 人



昨年は神足ふれあい町家が開館してから 15 周年を迎え、企画展や記念イベントの開催を通して SNS を活用し情報発信を行いました。また、市制 50 周年記念企画として開催された写真展や、他市でのイベントにも積極的に参加したことで、より多くの方に認知していただけるようになりました。

#### ②まちなか博物館ネットワークの整備

##### 「まちなか博物館ネットワーク」の整備

令和4年度の目標	令和4年度の結果
「まちなか博物館ネットワーク」の整備に向けた検討	「まちなか博物館ネットワーク」の整備に向けた検討



文化財の保存・活用に関する総合的な計画である長岡京市文化財保存活用地域計画を作成し、「まちなか博物館ネットワーク」の拠点となる新庁舎歴史資料展示室の整備などを重点事業として整理しました。今後は同計画に基づき、歴史の息づく地域の環境を生かした文化財保存活用を進めていきます。

### (4)環境美化の推進 ・ 住みよい生活環境の維持

#### ①地域の清掃活動の促進

##### 530 運動参加団体への支援

令和4年度の目標	令和4年度の結果
支援継続	支援団体（104 団体）



530運動とは、ごみを拾うことにより捨てない心を養い、散乱するごみの現状を自分達の問題として考えようという運動です。5月30日（ごみゼロ）にちなんで、毎年この時期に、市内事業所や自治

会なども参加して行っています。市では、この運動に参加していただく団体に、ごみ袋の配布や火ばさみなどを貸し出して、支援しています。新型コロナウイルスの感染拡大時期は実施団体が減少していましたが、令和3年度から回復傾向となり、令和4年度は概ねコロナ前と同等の活動水準となりました。

## ②環境保全に係る啓発

### 美化パトロール・ワンワンパトロールの実施

令和4年度の目標	令和4年度の結果
環境美化推進員による美化パトロール 週1回年60日 夜間パトロール等におけるワンワンパトロール 月1~2回	環境美化推進員による美化パトロール 週1回年60日 夜間パトロール等におけるワンワンパトロール 月1~2回



ポイ捨て防止の指導・啓発を行ったり、散乱ごみを回収したりするなどのパトロールを行っています。回収したごみの量は、たばこ17,481本、缶・ビン・ペットボトル581本でした。

### 生活環境向上のための啓発

令和4年度の目標	令和4年度の結果
広報紙への生活環境マネー啓発記事の掲載	広報長岡京2回掲載 市ホームページ掲載



広報長岡京に啓発記事を2回掲載するとともに即時的な内容のものはホームページに掲載し、啓発に努めています。

### 大気汚染や光害等に関する学習会の開催

令和4年度の目標	令和4年度の結果
啓発イベントの開催年2回	スターウォッチングを2回開催



大気汚染で空気が汚れていたり、地上の明かりが強すぎて夜空全体が明るくなる光害などが原因で、星や惑星が見えにくくなっていることについて関心を持っていただくため、夏と冬の計2回、スターウォッチングを開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえて、参加者数を少なめに設定し、計34名の親子が参加しました。

### ③空き家や空き地の適正管理の推進

空き家の発生抑制・適切な管理の啓発及び空き家行政プラットフォームや空き家バンク等の運用

令和4年度の目標	令和4年度の結果
空き家の苦情是正率 80%	空き家の苦情是正率 96%



苦情があった空き家の所有者に対し、適正管理のお願い文書を送付し、植物に関する苦情についてはほぼ是正されました。また、空き家所有者と近隣住民との連絡先交換を促しました。

### ④環境調査の推進

各種環境調査の実施

令和4年度の目標	令和4年度の結果
基準超過箇所減少 (令和2年度基準値：14箇所)	基準超過箇所 11件



小畑川、小泉川の水質の保全

令和4年度の目標	令和4年度の結果
小畑川・小泉川 透視度：30cm以上 BOD：2mg/ℓ以下 PH：6.5～8.5の維持	小畑川・小泉川 透視度：30cm以上 BOD：小畑川 0.5mg/ℓ 小泉川 0.5 mg/ℓ 以下 PH：小畑川 7.7 小泉川 8.0



※上記は、小畑川上流：井ノ内橋、小泉川上流：西代橋の調査結果である。

市では、変化する地域の生活環境を継続的に把握するため、独自に河川水質、自動車騒音、環境騒音、窒素酸化物、農業用井戸水の調査を行っています。令和4年度の調査では、212項目中11件で基準値を超過しました。毎年10件前後の基準超過が見られますが、いずれも一時的なもので、特に異常は見られませんでした。

## ★分野横断的施策

### (1)ゼロカーボン社会を目指し、環境に優しく地域経済が循環するまち

#### ①環境に配慮した事業活動の推進と環境基金の有効活用

##### 排出量取引を活用した事業の調査研究

令和4年度の目標	令和4年度の結果
事業化に向けた関係者調整	事業化に向けた関係者調整



令和4年5月、市民参加型の再エネ普及施策として、株式会社ボードレス・ジャパン及び市内ごみ収集事業者3社と「CO<sub>2</sub>ゼロで行うごみ収集事業」協定を締結しました。市民が太陽光パネル設置によって生み出した環境価値（CO<sub>2</sub>排出削減効果）を価値化し、市内の燃えるごみ収集事業者が購入することで、理屈上、CO<sub>2</sub>ゼロでのごみ収集を実現しよう、との取り組みです。

報道にも数多く取り上げていただいた事業でしたが、CO<sub>2</sub>排出削減効果を価値化するための制度「京-VERクレジット」が新規認証を行わなくなったことから、根本的な軌道修正が必要となりました。今後、市民参加型の再エネ普及施策というコンセプトを大事にしながら、事業関係者と同事業の今後について話し合います。

##### ペットボトルの水平リサイクルの実施

令和4年度の目標	令和4年度の結果
取り組み成果の公表	取り組みのPR成果の試算



令和3年10月、長岡京市をはじめ、乙訓二市一町と乙訓環境衛生組合及びサントリーグループとの間でペットボトルのボトルtoボトルに関する協定を締結し、令和4年度から取り組みを開始しました。ペットボトルからペットボトルへ、同じ製品に生まれ変わらせる「水平リサイクル」を推進することで、製造過程のCO<sub>2</sub>や、焼却熱利用されることによるCO<sub>2</sub>排出を抑制できます。

ペットボトルの排出方法は変わりませんが、この取り組みを知っていただくために、市政施行50周年記念フォーラムでの情報発信や「京都環境文化学術フォーラム」展示連携企画への出展を通して、取り組みをPRしました。

水平リサイクル以前はペットボトルが最終的に焼却熱利用されていたと仮定すると、令和4年度1年間で約521tの焼却熱由来のCO<sub>2</sub>を排出削減できたと試算することができます。

②グリーンコンシューマー活動・エシカル消費・顔の見える消費の拡大

環境に配慮した事業運営・消費行動の啓発

令和4年度の目標	令和4年度の結果
広報媒体等での啓発	観光分野におけるシェアサイクル事業の実施、グリーンコンシューマーに関する研修を実施



限られた区域に観光スポットが点在する長岡京市の特性を生かし、令和2年度から株式会社あさひとの協定に基づき、シェアサイクル事業を展開しています。所定のサイクルポートであれば、乗り捨てが自由であり、点在する観光スポットを効率よく回っていただくのに適した移動手段です。観光分野における環境に優しい消費行動としても注目です。令和4年度末には、利用率の低かった西代里山公園のサイクルポートを長岡天満宮境内に移設し、利便性と利用率の向上を図りました。



シェアサイクルの専用ポート（市内に4箇所）

また、廃棄物減量推進員を対象に「ごみ減量とグリーンコンシューマー」についての研修を実施しました。

※グリーンコンシューマー活動とは、買い物をするときに、できるだけ環境に配慮したお店や商品を選ぶ運動のこと。

アゼリアエコチャレンジプロジェクト

令和4年度の目標	令和4年度の結果
参加人数の維持	414名参加



長岡中央商店街振興組合、環境経済部、教育委員会が連携して、一学期の社会科の授業でごみの学習を行った小学校4年生を対象に、環境への想いを描いた絵画を募集する「アゼリアエコチャレンジ・プロジェクト」を実施しています。令和4年度は、前年度と比べて参加する小学校が増加したことで、参加人数も増加しました。

(2)環境と調和のとれた新たな地域の魅力を創造するまち

①みどりと歴史のまちづくり

京都西山再生プロジェクト

令和4年度の目標	令和4年度の結果
ふるさと納税寄附件数 累計 145 件	ふるさと納税寄附件数 累計 155 件



京都西山再生プロジェクトは、長岡京市の緑のシンボルである西山の保全に対して、ふるさと納税による寄付を募るものです。令和4年度の寄附件数は12件、延べ155件となりました。貴重な寄附金を財源に、災害による風倒木の整理、広葉樹等の苗木の植樹（29本）、獣害の防止ネットの設置を行いました。

### 西国街道における再整備

令和4年度の目標	令和4年度の結果
令和3年度実施の詳細設計に基づき工事着手	景観等に配慮した再整備方法に基づき300mを再整備



令和4年度は、近隣住民や地元自治会、通行者に配慮した上で、歴史ある西国街道の景観に調和した整備方法により300mの再整備を実施しました。今後は、全ての整備が早期に完了するよう進めていきます。

### 西山公園（第3期）の整備

令和4年度の目標	令和4年度の結果
用地買収 護岸整備工事実施	用地買収完了 護岸整備工事完了



西山公園は、これまでに西山公園体育館やジャブジャブ池、子どもの森を整備し、たくさんの皆様にご利用いただいておりますが、令和3年度からは新たに広場などを整備する第3期整備を進めています。

令和4年度は、配水池跡地及び進入路の用地取得を完了し、新池護岸整備工事を完了しました。令和5年度は、配水池工作物の解体工事を行う予定です。

### 総合的な文化財保存活用の推進

令和4年度の目標	令和4年度の結果
文化財保存活用地域計画の作成	長岡京市文化財保存活用地域計画の作成



文化財の保存・活用に関する総合的な計画である長岡京市文化財保存活用地域計画を作成し、令和4年12月に文化庁長官の認定を受けました。

②気候変動への適応と地域の魅力創造を両立するまちづくり

気候変動に適応したまちづくり事例の  
研究と庁内情報共有

令和4年度の目標	令和4年度の結果
先進事例等の調査研究	三菱自動車との災害時協定締結 庁内研修の実施

温暖化対策の観点から普及が進む電気自動車や PHEV（プラグインハイブリッド自動車）ですが、災害時の移動可能蓄電池としての活用に注目が集まっています。市は、令和4年4月、京都三菱自動車販売株式会社、三菱自動車工業株式会社と、「災害時における電動車両等の支援に関する協定」を締結しました。これにより、災害で停電が起きたとき、電源としても使えるPHEVを無償で貸与してもらえます。電気自動車の普及と活用により、温暖化対策の「緩和策」と「適応策」を同時に進める取り組みの一例です。



災害と温暖化対策の両面から電気自動車に注目が集まる

また、他分野にわたる適応策を進めていく上で、適応に関する庁内の理解促進が欠かせません。そこで年に1度実施している環境マネジメントシステム（KES）の職員研修に併せ、適応に関する研修を行いました。

グリーンインフラを活用した防災施工の検討

令和4年度の目標	令和4年度の結果
JR長岡京駅東口駅前広場における「にぎわい空間」により検討	JR長岡京駅東口駅前広場における「にぎわい空間」により検討



にぎわい空間の具体的な検討は令和5年度となるため、実現可能性の検討を進めていきます。

(3)エコライフと暮らしやすさを両立するまち

①COOL CHOICE の推進

COOL CHOICE 実践補助金の実施

令和4年度の目標	令和4年度の結果
COOL CHOICE の実践を対象とする補助金の利用件数累計 602 件	COOL CHOICE の実践を対象とする補助金の利用件数累計 676 件



設備投資を伴う市民の温暖化対策の取り組みを支援するため、COOL CHOICE 実践補助金を交付しています。令和4年度から家庭用燃料電池システムの設置補助メニューを追加し（停電時自立発電機能付きの物に限る）、省エネでもあるコージェネレーションを活用した自立・分散型のエネルギー社会を推進しました。8月からは、補正予算を活用し、太陽光パネルと蓄電池の同時設置補助の受付枠を拡充したほか、次世代自動車の導入補助を事業者向けにも拡充し、燃料高騰の影響を受けにくいライフ・ビジネススタイルへの転換促進を行いました。最終的な実績件数は、薪ストーブの設置補助0件、住宅窓の断熱改修補助6件（192,000円）、太陽光発電設備と蓄電設備の同時設置補助46件（6,214,000円）、次世代自動車の導入補助（事業者への補助含む）22件（2,200,000円）、家庭用燃料電池システムの設置補助4件（200,000円）となりました。

## ②ごみの出ない暮らし方の推進

### マイプラレディ運動の拡大

令和4年度の目標	令和4年度の結果
庁内会議でのマイプラレディ運動の啓発	庁内会議でのマイプラレディ運動の啓発



マイクロプラスチックによる海洋汚染や廃棄物の増加、気候変動といった環境問題を解決するためには、使い捨て大量消費の行動様式の見直しといった、これまでの慣例を社会全体として見直す取り組みが求められます。市では、特にプラスチックごみの削減について、「マイプラレディ運動=my(私の)pla(プラスチック類は)ready(自分で準備)」を進めています。令和4年度は、庁内向けの基本方針「会議での使い捨て容器等の飲料の提供に関する考え方」を本格施行し、外部からの出席者の理解を得ながら、会議において慣例となっている飲料の提供を徐々に廃止し、マイボトルを呼び掛ける取り組みを行いました。令和4年度から供用を開始した新庁舎においても、給湯器をボトルの入る仕様のものですることで、マイボトルを利用しやすい環境を整えています。今後は徐々に対外的にマイプラレディ運動を広めていきます。

その他、プラスチックごみを出さない取り組みとして、市役所庁舎に傘のしずく取り器を設置しています。雨の日は傘用ビニール袋の設置が思い浮かびますが、雨しずくを吸収・振るい落とす仕様のもので設置することで、傘用ビニール袋を使用していません。まだ試験的な活用段階ではありますが、今後こうした細かな点にも環境配慮を行っていきます。

### 家庭用品活用コーナーを利用した家庭用品の再利用推進

令和4年度の目標	令和4年度の結果
広報媒体等での啓発	広報媒体等での啓発



「再利用（リユース）」とは、使用済みの製品をごみとして捨てずに、繰り返し使用することです。

広報紙や市ホームページにおいて家庭用品活用コーナーの情報を掲載し、再利用を促進しました。令和4年度は、不要品提供の情報が136件、希望する情報が153件あり、54件の再利用につながりました。

### ③コンパクトなまちづくりの推進

#### 都市再生整備計画事業の推進

令和4年度の目標	令和4年度の結果
進捗率 【西山天王山駅周辺】99% 【都心ゾーン】100%	進捗率 【西山天王山駅周辺】100% 【都心ゾーン】100%



西山天王山駅周辺地区、都心ゾーン地区の都市再生整備計画に基づき、長岡第四小学校建替え事業及びJR長岡京駅前広場整備など各種事業を実施しました。

### (4)持続可能な未来を築く人が育ち・学び・人がつながる環境の都

#### ①中間支援組織と連携するなどした環境団体等の活動支援

#### 市民活動サポートセンターの管理運営

令和4年度の目標	令和4年度の結果
市民活動・ネットワーク づくりに関する相談件数 延べ80件	市民活動・ネットワーク づくりに関する相談件数 延べ83件



コロナ禍の中、ネットワークに関する総相談件数は延べ83件と目標値を超える相談件数がありました。職員の研修や広報等のPRにより、徐々に活動に関する具体的な相談や、事業に参加したい、ボランティアをしたいという個人からの相談もあります。

#### ②環境学習の機会の提供

#### 西山ファミリー環境探検隊の実施

令和4年度の目標	令和4年度の結果
年4回実施	年4回実施



西山ファミリー環境探検隊は、西山をフィールドにして、家族で自然を楽しんでもらう中で、西山への理解を深めてもらい、環境保全意識の高揚を図ろうとするものです。令和4年度は、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、4回開催することができました。

学校現場においては、環境マネジメントシステムの一つである「KES 学校版」の初めての審査を受審し、新たな認証を取得しました。学校現場に環境マネジメントシステムを取り入れ、児童・生徒とともに運用を図ることで、環境に与える影響をマネジメントすることの大切さを学ぶ機会とするものです。

その他にも、授業の中で気象予報士を招いて温暖化対策の授業を行うなど、特色のある環境学習を実施しています。

### 放課後子ども教室（環境活動体験）等の実施

令和4年度の目標	令和4年度の結果
参加者数 90 人	参加者数 31 人



令和4年度は、2年間の教室中止、縮小期間を経て、各校区とも少しずつ活動人数や回数を増やすことができました。環境活動体験についても、小泉川の自然観察が雨天で中止になるなど、目標値には届きませんでしたが、筍掘り体験や竹炭焼体験等に31名（2校区）の参加があり、少しずつ参加者数が戻ってきています。

### 市民企画講座（「環境」テーマ分）等の実施

令和4年度の目標	令和4年度の結果
講座数 2 件 参加者数 50 人	講座数 4 件 参加者数 44 人



市民企画講座は、その名のとおり市民が主体となって企画するものであり、令和4年度は、「長岡京市竹ドミノ大会」を1回と「長岡京市SDGs交流会」を1回、「自然に親しみ自然を守ろう」を2回実施しました。「自然に親しみ自然を守ろう」においては、定員を多く受け入れることができず、申込に対して参加できる人数が少なかったことや悪天候のため2回中止したことが影響し、講座件数は目標値を達成したものの参加者数は目標値を下回る結果となりました。

### ③地域の中で環境を考える学び合いの機運の醸成

#### 環境フェア・農業祭などのイベント実施

令和4年度の目標	令和4年度の結果
環境イベントの開催	環境イベントの開催



環境フェアと農業祭の合同開催を実現し、環境と親和性の高い「農」と併せてPRすることで、地産地消による温暖化対策や地元農業振興など、分野横断的な啓発イベントとしました。市民ホールでは、2050ゼロカーボンシティ宣言記念シンポジウムを行い、「『宣言』から『行動』へ」をテーマに、講演とパネルディスカッションを行い、脱炭素社会に向けた契機としました。

また、市政施行50周年を祝う10月1日の自治記念式典の日には、「サステナブルな長岡京市へ」

をテーマに、環境の取り組みをリードする地元大手企業や、これからの社会を担う地元高校生との対談イベントを行い、来場者も登壇者も、一人ひとりが環境に想いをはせる日となりました。



環境フェアと農業祭の合同開催。合同開催にすることで、分野横断的な啓発が可能に。

### 地域内での異なる団体間の交流の機会の創

令和4年度の目標	令和4年度の結果
交流の機会の創出	交流の機会の創出

地域内で環境について考える機運を醸成するため、行政から市民の方への啓発だけでなく、市民の方同士の交流・啓発が活発化するような取り組みを進めています。たとえば、広報長岡京には「みんなの環境メッセージ」と称した新コーナーを令和4年4月から設け、市民の方から市民の方へ、環境問題に向けたメッセージを発信してもらっています。

その他、小学生を対象とした出前授業では、行政だけでなく、市民の環境団体の方とともに講義を行うことで、実感を得やすい、身近な地域の人からのメッセージを発信してもらっています。



地元環境団体から身近な地域での環境活動を紹介